



H-II Aロケット21号機打ち上げの様子
(JAXA様提供)

祝！ H-II A21号機打上げ成功

5月18日(金)午前1時39分、H-II Aロケット21号機が打ち上げられました。このH-II Aロケットには明星電気製のカメラ2台と画像圧縮装置(PCE)が搭載され、打ち上げから宇宙到達までの状況を監視しております。今回の21号機は大型の第一期水循環変動観測衛星「しずく」をはじめ合計4つの衛星を地球周回軌道に載せることに成功しています。「しずく」は、宇宙から地球の水循環を観測する役割を持っています。明星電気製のモニタカメラ6台が搭載され、アンテナや太陽電池パドル等の作動状況を監視します。また相乗り衛星である小型実証衛星4型「SDS-4」では衛星構体をはじめ、磁気トルカ・QCM・送受信機・GPS受信機・磁気センサー・姿勢制御インターフェースなどの衛星搭載機器を明星電気が開発しております。詳しくはJAXA様のHPをご覧ください。

- ・「しずく」 http://www.jaxa.jp/countdown/f21/overview/shizuku_j.html
- ・SDS-4 http://www.jaxa.jp/projects/sat/sds4/index_j.html

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 小林 忍)



授与された感謝状

全天X線監視装置(MAXI)に対する貢献で感謝状をいただきました！

この度、宇宙航空研究開発機構(JAXA)様より感謝状が授与されました。これは、国際宇宙ステーション日本の実験棟「きぼう」に搭載された、全天X線監視装置(MAXI: Monitor of All-sky X-ray Image)の定常運用が目標としていた2年間に達成し、一定の成果を上げられたことを記念して贈られたものです。MAXIは、当社が開発・製造を担当したもので「宇宙天文台」とも呼ばれています。2009年7月に「きぼう」の船外実験プラットフォームに取り付けられ、同年8月以降、全天の天体からの엑스線を常時観測してきました。昨年には米国のガンマ線バースト観測衛星(Swift: スウィフト)との連携により、地球から39億光年離れた銀河の中心にある巨大ブラックホールに星が吸い込まれる瞬間を世界で初めて観測するなどの成果をあげています。

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 小林 忍)

明星電気の活動を紹介します。



須野ダム管理事務所機器室に設置された計測震度計システム

須野ダムで計測震度計システムが運用開始！

鹿児島県奄美大島の須野ダムは、1998年に須野川水系の利水を目的として作られ、灌漑・上下水道供給に利用されています。当ダムでは、株式会社栄電社様(本社:鹿児島県鹿児島市)による工事請負契約で明星電気製の計測震度計システム(S210)が採用され、ダム堤体(ダム本体の構造物)の安全管理に活用されています。明星電気の技術が水資源豊かな九州のダムにおいても管理・運営のために役立てられています。

(当社営業担当:九州支店 田中琢也)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、~人と社会の豊かな環境づくりに貢献する~をテーマに水中から宇宙までをカバーする世界のトータルソリューションプロバイダーを目指します。